

おはようございます。令和5年度が終わるにあたり話をします。

最近、卓球や水泳など様々な種目で、今年の7月からフランスで行われるパリオリンピックの日本代表が決まっています。今日は、その中で先日陸上の女子マラソンの代表に決まった前田穂南選手についての話をしたと思います。

なぜ前田穂南選手かというと、尼崎市出身で、尼崎市立園田東中学校の卒業生だからです。ここにいる皆さんの中にも園田東中学校卒業の人がいると思います。

前田選手は2021年の東京オリンピックの女子マラソンの代表選手でもあり、2大会連続のオリンピック出場です。たとえば、順風満帆の選手生活を送ってきたように思うかもしれませんが、でも、実際には何度も挫折を味わっているのです。

前田選手は、園田東中学校を卒業した後、全国高校女子駅伝に毎年のように出場している大阪薫英女学院高校に進学しました。でも高校時代は補欠で、全国高校駅伝には一度も出場できませんでした。ただ、走ることが誰よりも好きだったので、高校卒業後も岡山県の実業団の「てんまや」に就職し陸上を続けました。入社後は、地道に努力を続けて力をつけ、2019年9月に行われたMGC（マラソングランドチャンピオンシップ）で優勝し、2020年に予定されていた東京オリンピックの代表を見事に勝ち取りました。

ところが、絶好調で臨むはずだったオリンピックが新型コロナで1年延期され、その上練習中に足首を故障してしまいました。そのため東京オリンピック本番は、直前まで練習がままならない状態で迎え、結果は33位。喜びは悔しさでかき消されてしまいました。

その後も、故障を繰り返し走れない期間が多くありました。しかし、昨年10月に行なわれたパリオリンピック代表選考会であるMGCには、ようやく体調を整えて臨むことができました。ただ、今度は苦手な雨に打たれて身体が動かず7位に沈んでしまい、2位までに入れば得られる代表内定を逃しました。

その時には、もう「陸上をやめたい」と思ったそうです。それでも練習から逃げずに、MGC後はそれまで以上に走りこみました。そして、1月28日に行われた大阪女子マラソンで、19年ぶりの日本記録となる2時間18分59秒をマークして優勝しました。その後、3月10日に行われた名古屋ウイメンズマラソンで前田選手の記録を上回る選手がいなかったため、パリオリンピックの最後の3人目の代表に決定しました。パリオリンピック本番での活躍を期待したいと思います。

挫折をしても、うまくいかないことがあっても、あきらめず、それを乗り越えようと頑張る前田選手の姿勢は本当に素晴らしいと思います。

高校生活もそうですが、長い人生には、うまくいくこともあれば、うまくいかないこともあります。それでも、夢や目標に向かってあきらめず努力を続けていれば、きっと報われることがあります。仮にいい結果が出なかったとしても、精一杯努力していたのであれば、自分なりの満足感を得ることができると思います。

4月からは新入生が入ってきます。2年生は3年生に、1年生は2年生になります。新たな目標を持って、目標の実現のために精いっぱい努力できる1年間にしてください。仮に途中でうまくいかないことがあっても、あきらめないで頑張ってください。新学期の始業式をそうした前向きな思いを持って迎えてくれることを期待しています。

以上で、3学期の終業式の話が終わります。